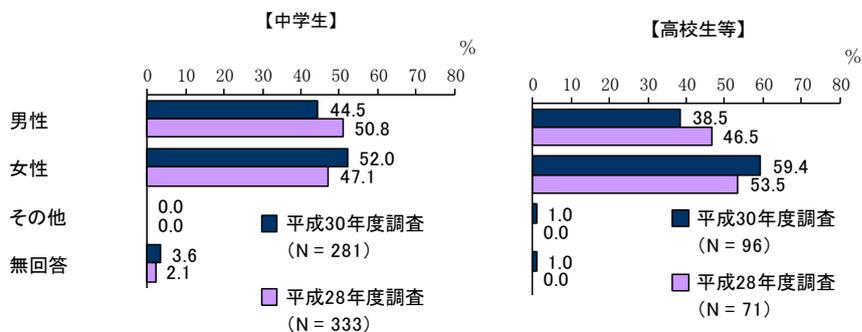


IV 「成人前」調査結果

問1 性別をお答えください。

中学生では、「男性」の割合が44.5%、「女性」の割合が52.0%となっています。
高校生等では、「男性」の割合が38.5%、「女性」の割合が59.4%となっています。



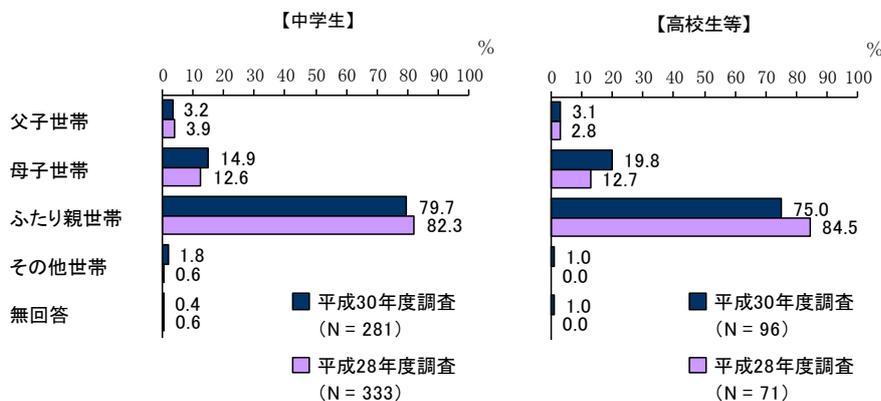
問2 一緒に暮らしているご家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

中学生では、「ふたり親世帯」の割合が79.7%と最も高く、次いで「母子世帯」の割合が14.9%、「父子世帯」の割合が3.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

高校生等では、「ふたり親世帯」の割合が75.0%と最も高く、次いで「母子世帯」の割合が19.8%、「父子世帯」の割合が3.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「母子世帯」の割合が増加しています。

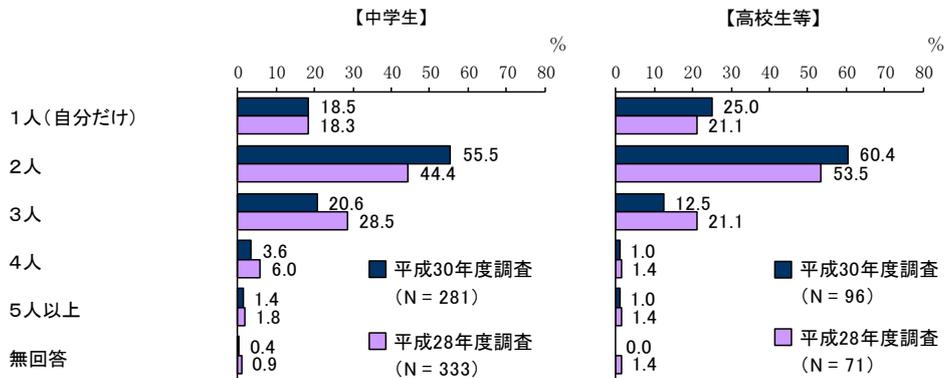


問3 兄弟姉妹についてお答えください。(1つに○)

中学生では、「2人」の割合が55.5%と最も高く、次いで「3人」の割合が20.6%、「1人(自分だけ)」の割合が18.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「2人」の割合が増加し、「3人」の割合が減少しています。

高校生等では、「2人」の割合が60.4%と最も高く、次いで「1人(自分だけ)」の割合が25.0%、「3人」の割合が12.5%となっています。



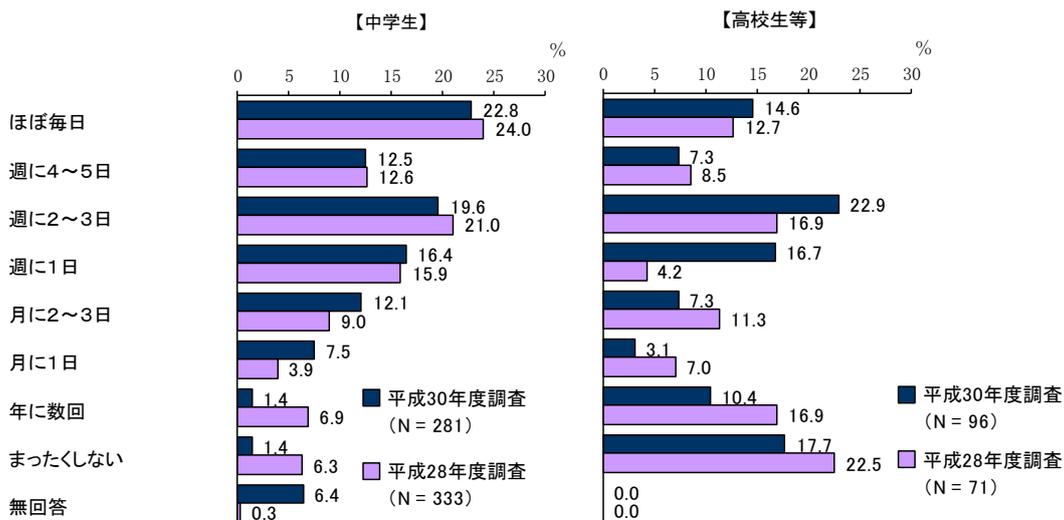
問4 そうじ・洗たく・食事のしたく・買物など、家の用事をどの程度していますか。(1つに○)

中学生では、「ほぼ毎日」の割合が22.8%と最も高く、次いで「週に2～3日」の割合が19.6%、「週に1日」の割合が16.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「年に数回」「まったくしない」の割合が減少しています。

高校生等では、「週に2～3日」の割合が22.9%と最も高く、次いで「まったくしない」の割合が17.7%、「週に1日」の割合が16.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「週に2～3日」「週に1日」の割合が増加し、「年に数回」の割合が減少しています。



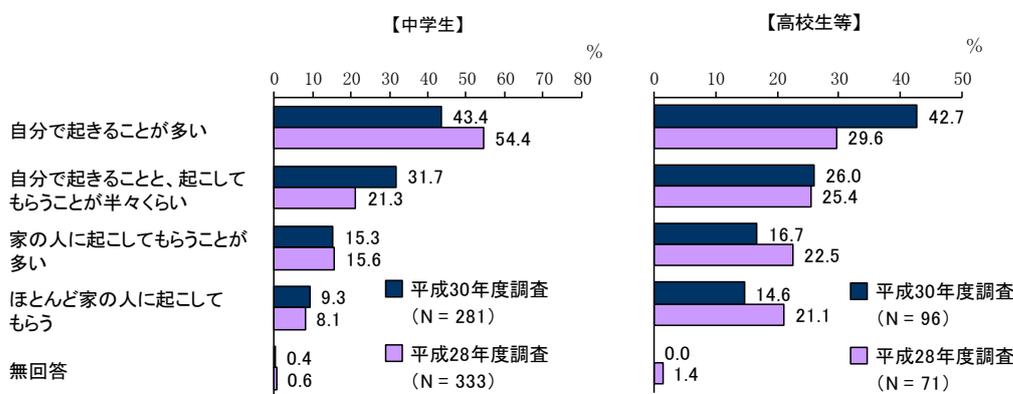
問5 朝は自分で起きられますか。(1つに○)

中学生では、「自分で起きることが多い」の割合が43.4%と最も高く、次いで「自分で起きることと、起こしてもらおうことが半々くらい」の割合が31.7%、「家の人に起こしてもらおうことが多い」の割合が15.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「自分で起きることが多い」の割合が減少し、「自分で起きることと、起こしてもらおうことが半々くらい」の割合が増加しています。

高校生等では、「自分で起きることが多い」の割合が42.7%と最も高く、次いで「自分で起きることと、起こしてもらおうことが半々くらい」の割合が26.0%、「家の人に起こしてもらおうことが多い」の割合が16.7%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「自分で起きることが多い」の割合が増加し、「家の人に起こしてもらおうことが多い」「ほとんど家の人に起こしてもらおう」の割合が減少しています。



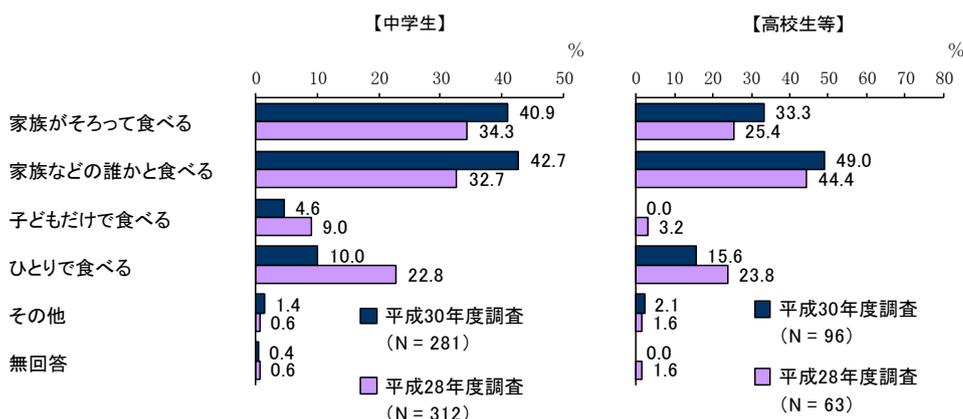
問6 家での食事は、どのように食べる人が多いですか。(もっとも近いもの1つに○)

中学生では、「家族などの誰かと食べる」の割合が42.7%と最も高く、次いで「家族がそろって食べる」の割合が40.9%、「ひとりで食べる」の割合が10.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「家族がそろって食べる」「家族などの誰かと食べる」の割合が増加し、「ひとりで食べる」の割合が減少しています。

高校生等では、「家族などの誰かと食べる」の割合が49.0%と最も高く、次いで「家族がそろって食べる」の割合が33.3%、「ひとりで食べる」の割合が15.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「家族がそろって食べる」の割合が増加し、「ひとりで食べる」の割合が減少しています。



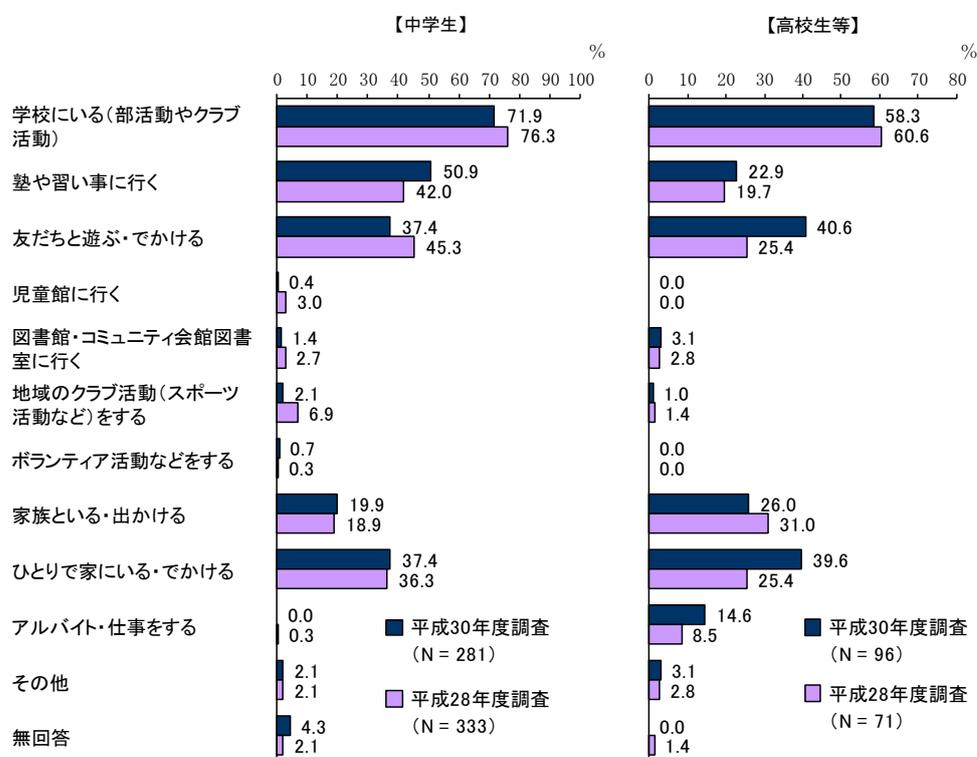
問7 月曜日から金曜日の放課後、何をすることが多いですか。
(あてはまるもの3つまでに○)

中学生では、「学校にいる（部活動やクラブ活動）」の割合が71.9%と最も高く、次いで「塾や習い事に行く」の割合が50.9%、「友だちと遊ぶ・でかける」、「ひとりで家にいる・でかける」の割合が37.4%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「塾や習い事に行く」の割合が増加し、「友だちと遊ぶ・でかける」の割合が減少しています。

高校生等では、「学校にいる（部活動やクラブ活動）」の割合が58.3%と最も高く、次いで「友だちと遊ぶ・でかける」の割合が40.6%、「ひとりで家にいる・でかける」の割合が39.6%となっています。

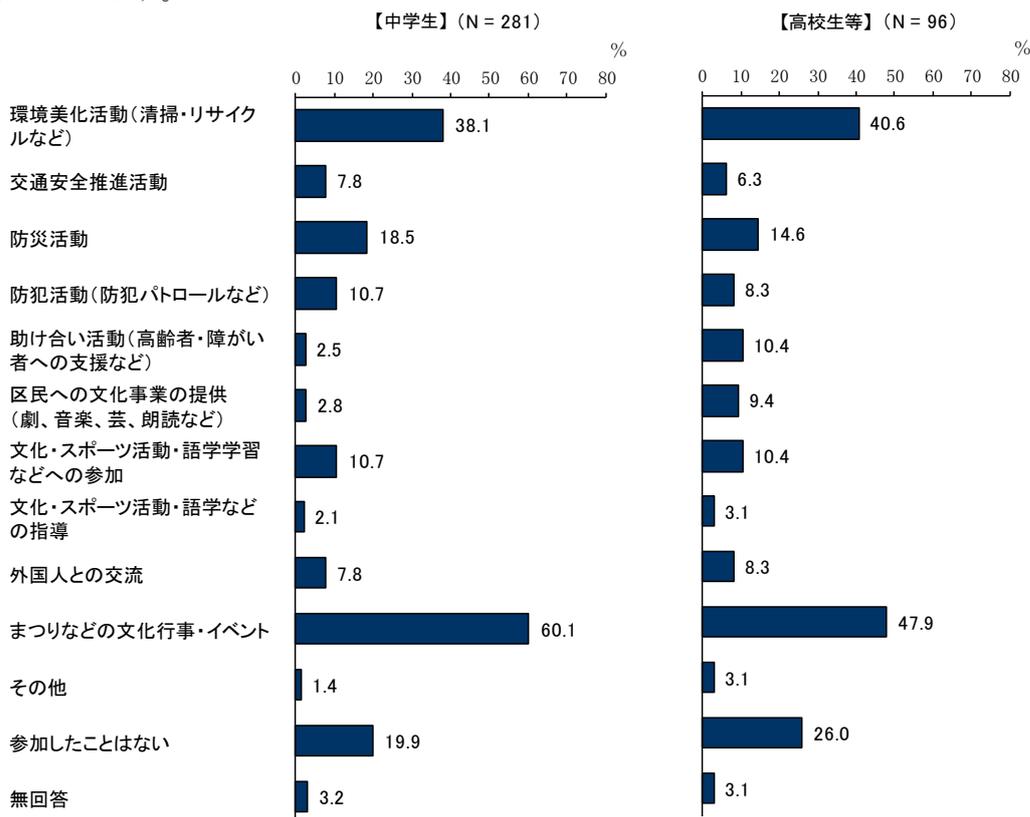
平成28年度調査と比較すると、「友だちと遊ぶ・でかける」「ひとりで家にいる・でかける」「アルバイト・仕事をする」の割合が増加し、「家族といる・出かける」の割合が減少しています。



問8 参加したことがある地域活動やボランティア活動はありますか。
(あてはまるものすべてに○)

中学生では、「まつりなどの文化行事・イベント」の割合が60.1%と最も高く、次いで「環境美化活動（清掃・リサイクルなど）」の割合が38.1%、「参加したことはない」の割合が19.9%となっています。

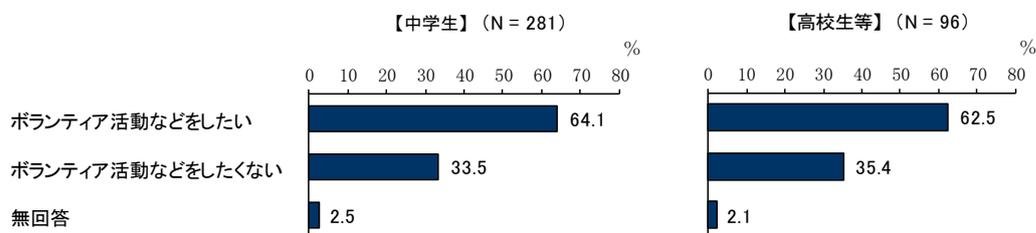
高校生等では、「まつりなどの文化行事・イベント」の割合が47.9%と最も高く、次いで「環境美化活動（清掃・リサイクルなど）」の割合が40.6%、「参加したことはない」の割合が26.0%となっています。



**問9 あなたが成人になったときに、地域活動やボランティア活動をしますか。
(1つに○) その理由もお教えてください。**

中学生では、「ボランティア活動などをしたい」の割合が64.1%、「ボランティア活動などをしたくない」の割合が33.5%となっています。

高校生等では、「ボランティア活動などをしたい」の割合が62.5%、「ボランティア活動などをしたくない」の割合が35.4%となっています。



【中学生】

※「ボランティア活動などをしたい」主な意見

- ・ 誰かの役に立ちたいから (39 件)
- ・ よりよい地域にしたいから (32 件)
- ・ 困っている人を助けたい (21 件)
- ・ たくさんの人との交流をしてみたいから (9 件)
- ・ いろいろな経験をしたいから (8 件)

※「ボランティア活動などをしたくない」主な意見

- ・ 面倒くさいから (14 件)
- ・ 忙しいから (11 件)
- ・ 自分の時間を大切にしたい (7 件)
- ・ 好きではないから (6 件)
- ・ 仕事をしたいから (6 件)

【高校生等】

※「ボランティア活動などをしたい」主な意見

- ・ 地域のために何か活動してみたい (18 件)
- ・ 人の役に立ちたい (12 件)
- ・ オリンピック (6 件)
- ・ たくさんの人と関われるようになりたい (6 件)

※「ボランティア活動などをしたくない」主な意見

- ・ 忙しいから (9 件)
- ・ 面倒くさいから (7 件)
- ・ 興味がない (3 件)
- ・ 大変そうだから (3 件)

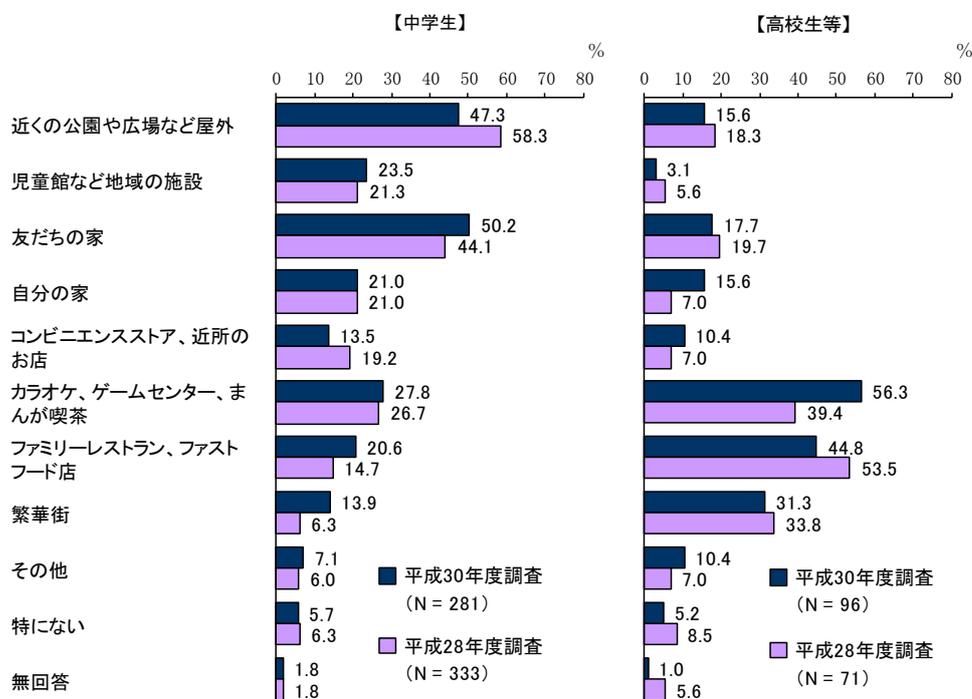
問10 友だちと遊んだり、でかけたりするところはどこが多いですか。
(あてはまるもの3つまでに○)

中学生では、「友だちの家」の割合が50.2%と最も高く、次いで「近くの公園や広場など屋外」の割合が47.3%、「カラオケ、ゲームセンター、まんが喫茶」の割合が27.8%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「近くの公園や広場など屋外」「コンビニエンスストア、近所のお店」の割合が減少し、「友だちの家」「ファミリーレストラン、ファストフード店」「繁華街」の割合が増加しています。

高校生等では、「カラオケ、ゲームセンター、まんが喫茶」の割合が56.3%と最も高く、次いで「ファミリーレストラン、ファストフード店」の割合が44.8%、「繁華街」の割合が31.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「自分の家」「カラオケ、ゲームセンター、まんが喫茶」の割合が増加し、「ファミリーレストラン、ファストフード店」の割合が減少しています。



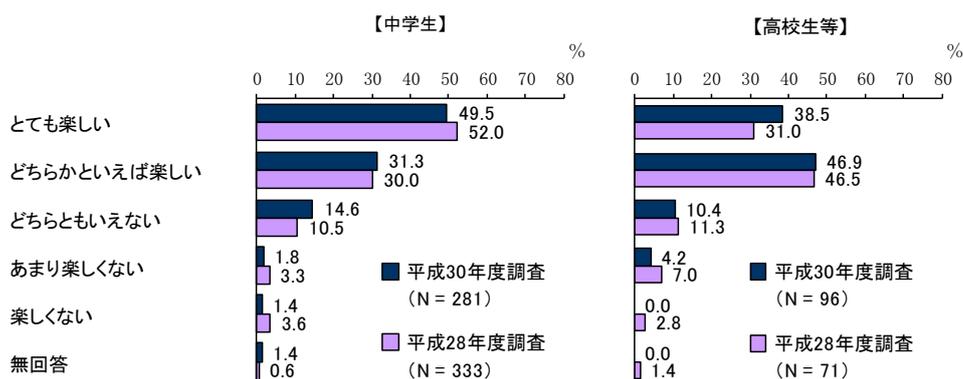
問 11 現在、学校や家庭などを含めて、生活は楽しいですか。(1つに○)

中学生では、「とても楽しい」と「どちらかといえば楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が80.8%、「どちらともいえない」の割合が14.6%、「あまり楽しくない」と「楽しくない」をあわせた“楽しくない”の割合が3.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

高校生等では、“楽しい”の割合が85.4%、「どちらともいえない」の割合が10.4%、“楽しくない”の割合が4.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、“楽しい”の割合が増加し、“楽しくない”の割合が減少しています。



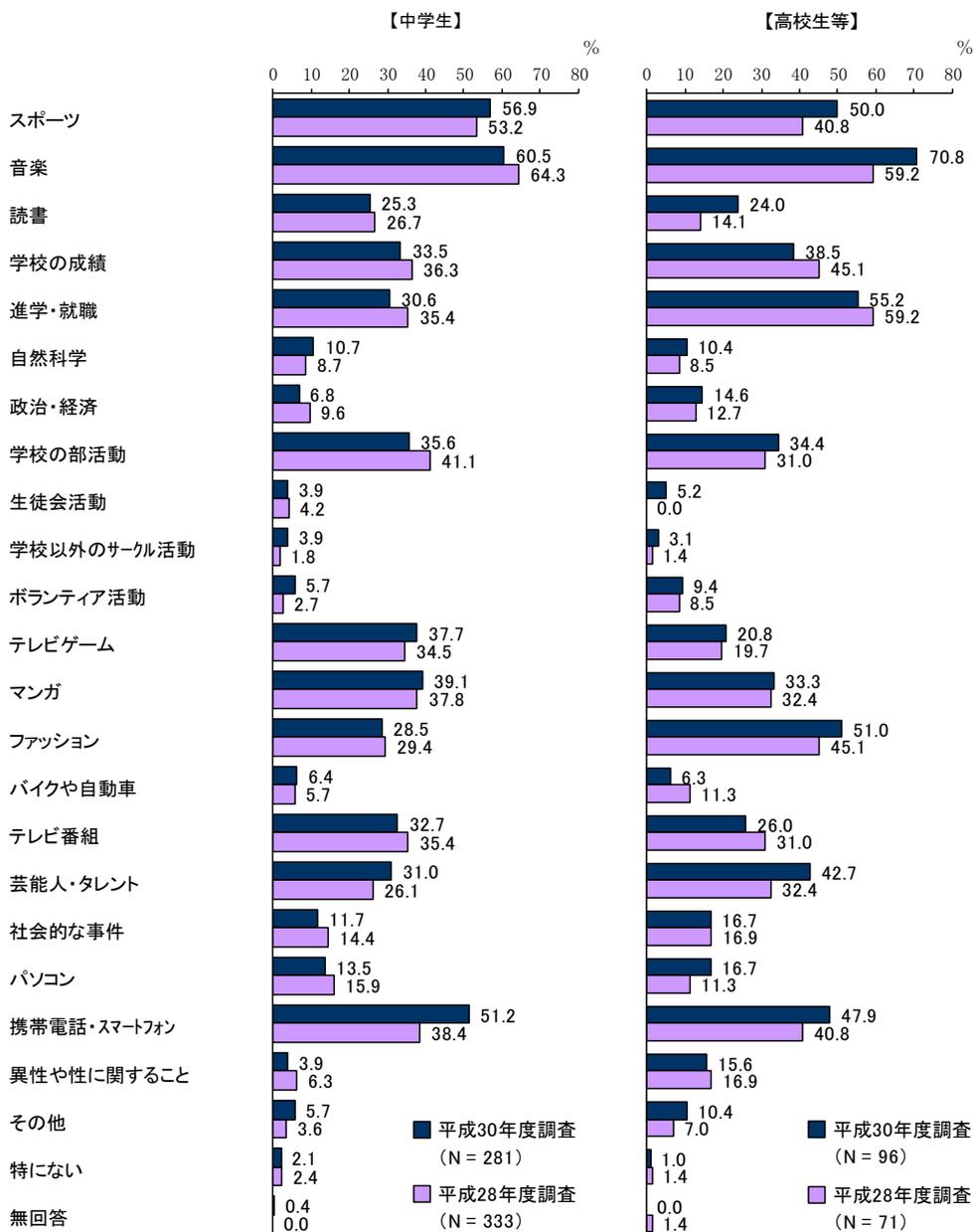
問12 どのようなことに興味がありますか。(あてはまるものすべてに○)

中学生では、「音楽」の割合が60.5%と最も高く、次いで「スポーツ」の割合が56.9%、「携帯電話・スマートフォン」の割合が51.2%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「学校の部活動」の割合が減少し、「携帯電話・スマートフォン」の割合が増加しています。

高校生等では、「音楽」の割合が70.8%と最も高く、次いで「進学・就職」の割合が55.2%、「ファッション」の割合が51.0%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「スポーツ」「音楽」「読書」「生徒会活動」「ファッション」「芸能人・タレント」「パソコン」「携帯電話・スマートフォン」の割合が増加し、「学校の成績」の割合が減少しています。



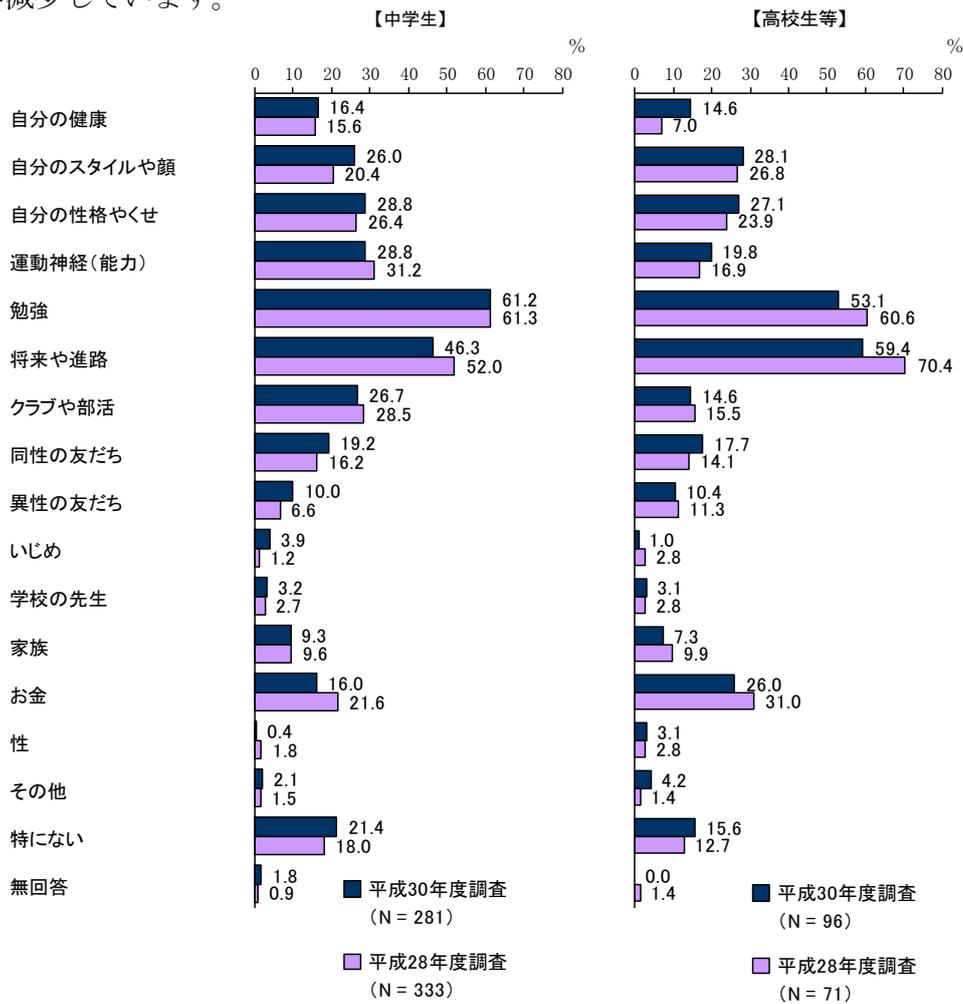
問 13 悩みや心配なことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

中学生では、「勉強」の割合が 61.2%と最も高く、次いで「将来や進路」の割合が 46.3%、「自分の性格やくせ」、「運動神経(能力)」の割合が 28.8%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「自分のスタイルや顔」が増加し、「将来や進路」「お金」の割合が減少しています。

高校生等では、「将来や進路」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「勉強」の割合が 53.1%、「自分のスタイルや顔」の割合が 28.1%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「自分の健康」の割合が増加し、「勉強」「将来や進路」「お金」の割合が減少しています。



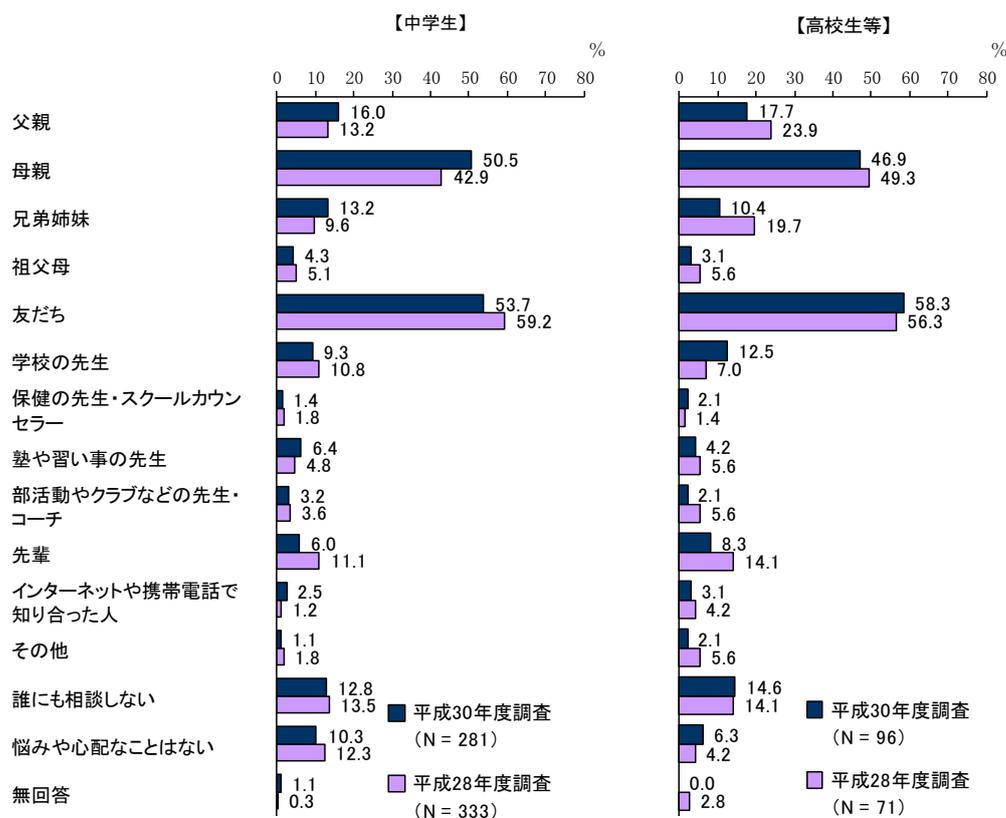
問 14 悩みや心配なことは誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

中学生では、「友だち」の割合が 53.7%と最も高く、次いで「母親」の割合が 50.5%、「父親」の割合が 16.0%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「母親」の割合が増加し、「友だち」「先輩」の割合が減少しています。

高校生等では、「友だち」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「母親」の割合が 46.9%、「父親」の割合が 17.7%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「学校の先生」の割合が増加し、「父親」「兄弟姉妹」「先輩」の割合が減少しています。



問 15 次の①～⑤の考え方についてどう思いますか。もっとも近いと思うものを1～4の中から選んでください。(それぞれ1つに○)

(1) 中学生

①自分のことが好きだ、②自分は人から必要とされているで「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高く、5割を超えています。また、③自分のことは誰もわかってくれないで「あまりそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が高く、約7割となっています。

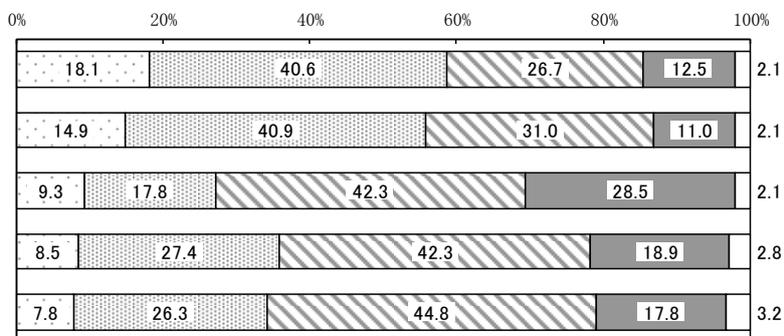
平成 28 年度調査と比較すると、①自分のことが好きだで“そう思う”の割合が増加しています。

□ そう思う □ ややそう思う □ あまりそう思わない □ そう思わない □ 無回答

【平成30年度調査】

N = 281

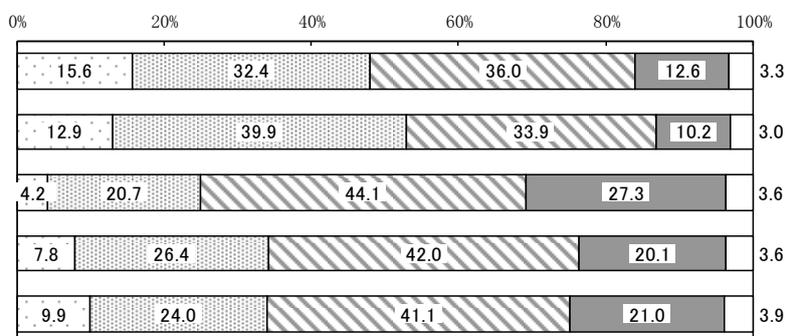
- ① 自分のことが好きだ
- ② 自分は人から必要とされている
- ③ 自分のことは誰もわかってくれない
- ④ まわりの人とあまり違わないようにしている
- ⑤ 友だちとの関係はお互いに深入りしないようにしている



【平成28年度調査】

N = 333

- ① 自分のことが好きだ
- ② 自分は人から必要とされている
- ③ 自分のことは誰もわかってくれない
- ④ まわりの人とあまり違わないようにしている
- ⑤ 友だちとの関係はお互いに深入りしないようにしている



(2) 高校生等

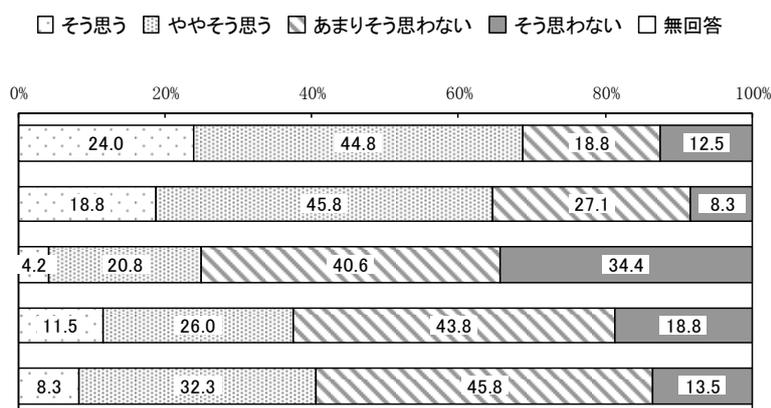
①自分のことが好きだ、②自分は人から必要とされているで“そう思う”の割合が高く、6割を超えています。また、③自分のことは誰もわかってくれないで“そう思わない”の割合が高く、7割台半ばとなっています。

平成28年度調査と比較すると、①自分のことが好きだで“そう思う”の割合が増加しています。

【平成30年度調査】

N = 96

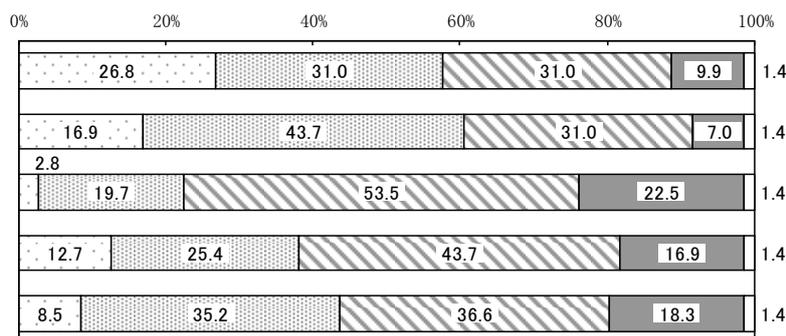
- ① 自分のことが好きだ
- ② 自分は人から必要とされている
- ③ 自分のことは誰もわかってくれない
- ④ まわりの人とあまり違うようにしている
- ⑤ 友だちとの関係はお互いに深入りしないようにしている



【平成28年度調査】

N = 71

- ① 自分のことが好きだ
- ② 自分は人から必要とされている
- ③ 自分のことは誰もわかってくれない
- ④ まわりの人とあまり違うようにしている
- ⑤ 友だちとの関係はお互いに深入りしないようにしている



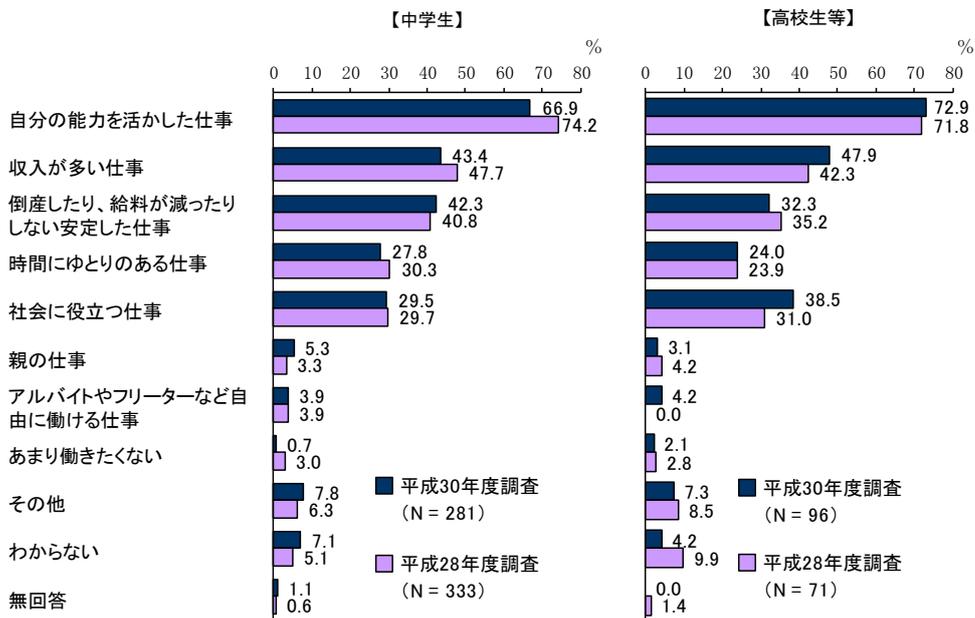
問 16 将来、どんな仕事につきたいですか。(あてはまるものすべてに○)

中学生では、「自分の能力を活かした仕事」の割合が 66.9%と最も高く、次いで「収入が多い仕事」の割合が 43.4%、「倒産したり、給料が減ったりしない安定した仕事」の割合が 42.3%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「自分の能力を活かした仕事」の割合が減少しています。

高校生等では、「自分の能力を活かした仕事」の割合が 72.9%と最も高く、次いで「収入が多い仕事」の割合が 47.9%、「社会に役立つ仕事」の割合が 38.5%となっています。

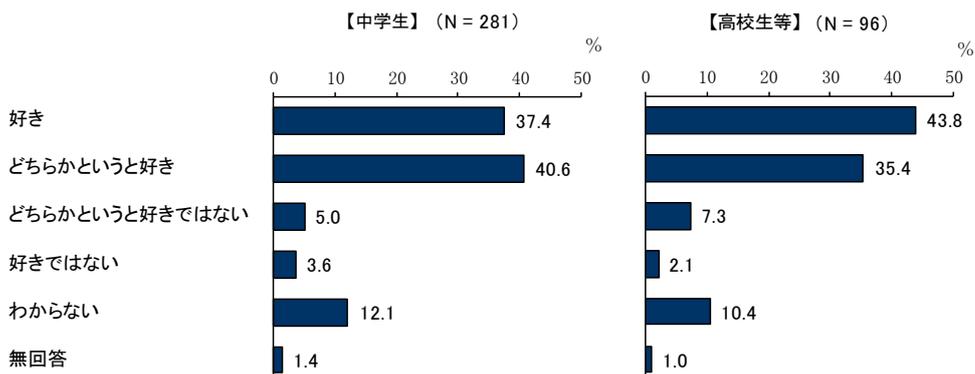
平成 28 年度調査と比較すると、「収入が多い仕事」「社会に役立つ仕事」の割合が増加しています。



問 17 あなたは墨田区が好きですか。(1つに○)

中学生では、「好き」と「どちらかという好き」をあわせた“好き”の割合が 78.0%、「どちらかという好きではない」と「好きではない」をあわせた“好きではない”の割合が 8.6%となっています。

高校生等では、“好き”の割合が 79.2%、“好きではない”の割合が 9.4%となっています。

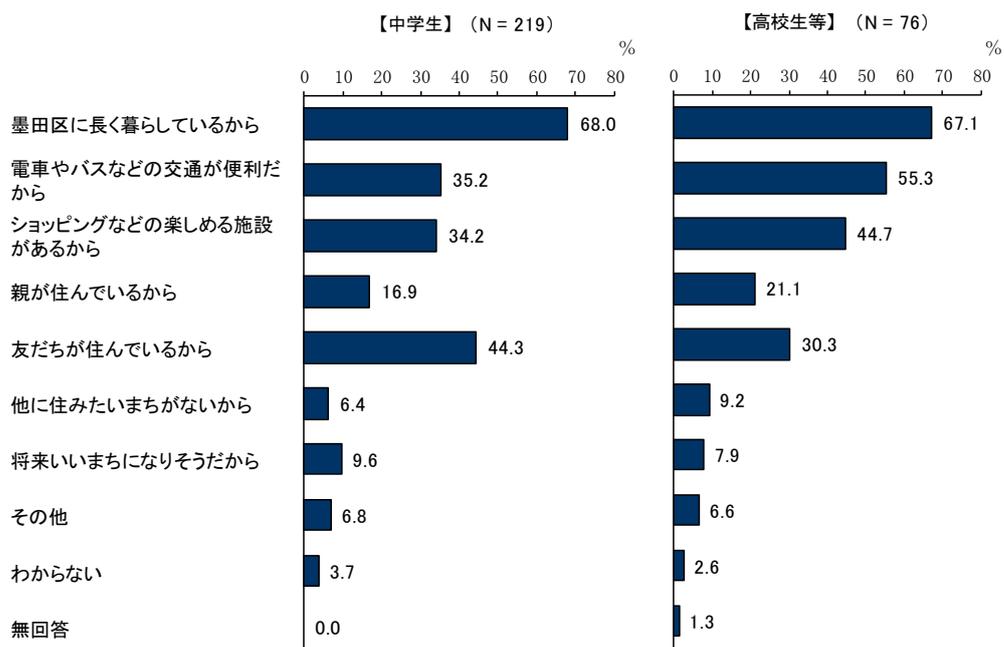


問17で「好き」「どちらかという好き」に○をつけた方にうかがいます。

問18 墨田区が好きな理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

中学生では、「墨田区に長く暮らしているから」の割合が68.0%と最も高く、次いで「友だちが住んでいるから」の割合が44.3%、「電車やバスなどの交通が便利だから」の割合が35.2%となっています。

高校生等では、「墨田区に長く暮らしているから」の割合が67.1%と最も高く、次いで「電車やバスなどの交通が便利だから」の割合が55.3%、「ショッピングなどの楽しめる施設があるから」の割合が44.7%となっています。

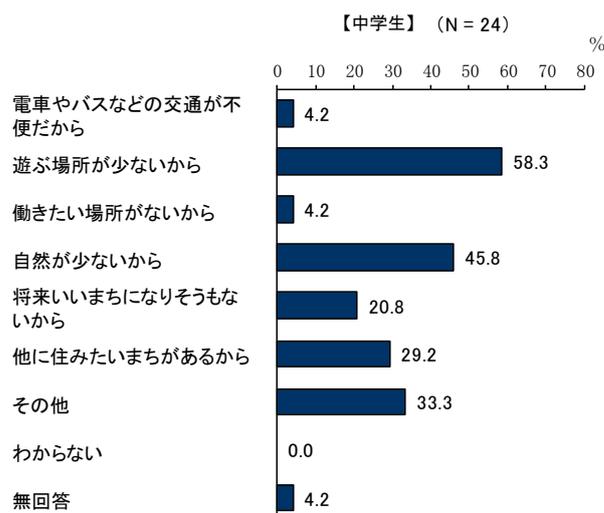


問 17 で「どちらかというとは好きではない」「好きではない」に○をつけた方にうかがいます。

問 19 墨田区が好きではない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

中学生では、「遊ぶ場所が少ないから」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「自然が少ないから」の割合が 45.8%、「他に住みたいまちがあるから」の割合が 29.2%となっています。

高校生等では、「遊ぶ場所が少ないから」が 5 件、「将来いいまちになりそうもないから」が 3 件、「電車やバスなどの交通が不便だから」、「働きたい場所がないから」、「他に住みたいまちがあるから」が 2 件となっています。



※高校生等については 10 件未満 (N = 9) のためグラフ化していません。

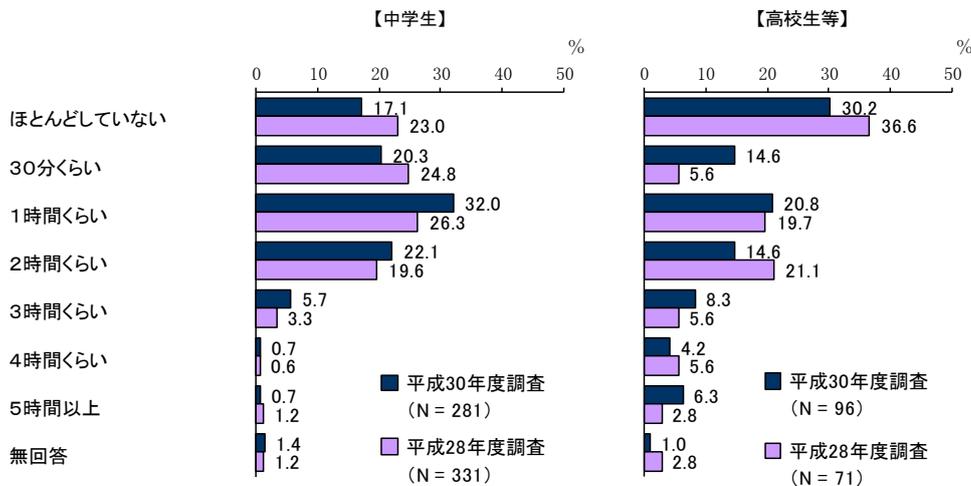
問 20 ふだん、学校以外で1日何時間くらい勉強をしていますか。(1つに○)

中学生では、「1時間くらい」の割合が32.0%と最も高く、次いで「2時間くらい」の割合が22.1%、「30分くらい」の割合が20.3%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「ほとんどしていない」の割合が減少し、「1時間くらい」の割合が増加しています。

高校生等では、「ほとんどしていない」の割合が30.2%と最も高く、次いで「1時間くらい」の割合が20.8%、「30分くらい」、「2時間くらい」の割合が14.6%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「30分くらい」の割合が増加し、「ほとんどしていない」「2時間くらい」の割合が減少しています。



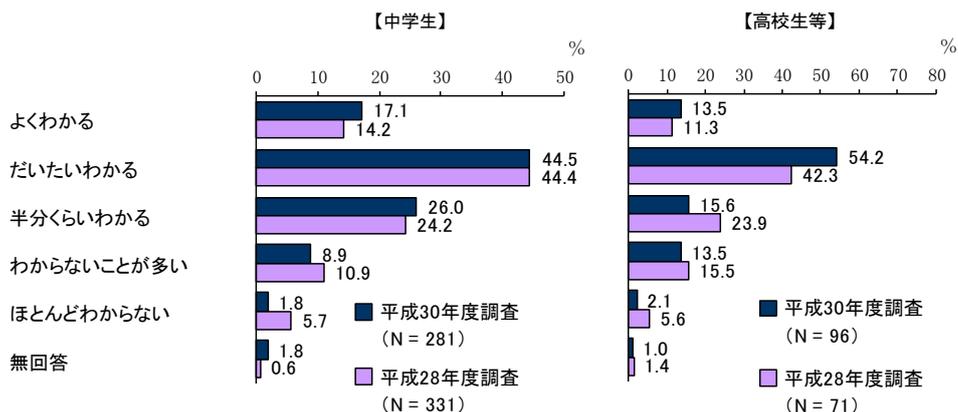
問 21 学校の授業は、わかりますか。(1つに○)

中学生では、「だいたいわかる」の割合が44.5%と最も高く、次いで「半分くらいわかる」の割合が26.0%、「よくわかる」の割合が17.1%となっています。

平成28年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

高校生等では、「だいたいわかる」の割合が54.2%と最も高く、次いで「半分くらいわかる」の割合が15.6%、「よくわかる」、「わからないことが多い」の割合が13.5%となっています。

平成28年度調査と比較すると、「だいたいわかる」の割合が増加し、「半分くらいわかる」の割合が減少しています。

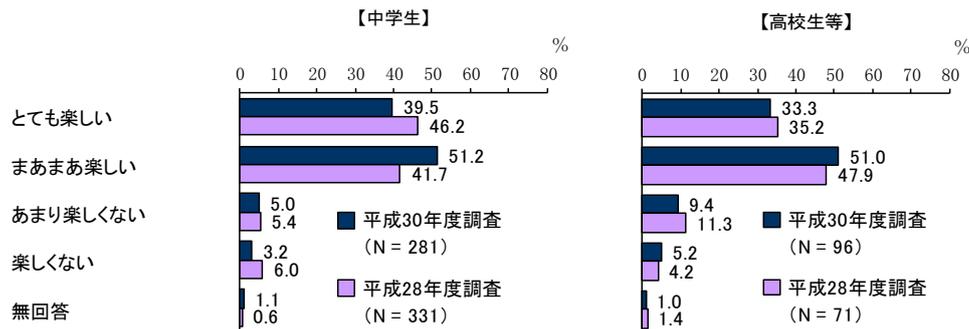


問 22 学校は楽しいですか。(1つに○)

中学生では、「とても楽しい」と「まあまあ楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が 90.7%、「あまり楽しくない」と「楽しくない」をあわせた“楽しくない”の割合が 8.2%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「とても楽しい」の割合が減少し、「まあまあ楽しい」の割合が増加しています。

高校生等では、“楽しい”の割合が 84.3%、“楽しくない”の割合が 14.6%となっています。平成 28 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 23 もし、あなたがいじめを受けたらどうしますか。(あてはまるものすべてに○)

中学生では、「親に相談する」の割合が 44.5%と最も高く、次いで「友だちに相談する」の割合が 42.0%、「じっと我慢する」の割合が 27.4%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「相手に文句をいう」の割合が減少し、「親に相談する」の割合が増加しています。

高校生等では、「親に相談する」の割合が 40.6%と最も高く、次いで「友だちに相談する」の割合が 38.5%、「相手に文句をいう」の割合が 34.4%となっています。

平成 28 年度調査と比較すると、「友だちに相談する」「親に相談する」の割合が減少しています。

